

# 第1回 FD/SD 研修「自発的に学生が動き出す仕掛けとは？」 ～社会人基礎力を養成するために～ 教育サロン型 FD・SD 研修会

## 1. 概要

この研修会では、大学への普及が進みつつあるアクティブラーニングについて実地に学び、既設の授業をアクティブラーニング化するためのノウハウを、実践をとおして提供した。研修テーマは、大分大学が取り組む「地（知）の拠点による地方創生」事業に関連して、地域で学ぶ学生の成長について取り上げた。具体的には、アクティブラーニング授業の一例として、学習集団の作り方と運営の方法（実習1・2）、学生が自発的に地域で活動し成長している大学の事例紹介（話題提供）を踏まえたグループディスカッション（実習3）と教室全体での情報共有（実習4）までの、一連の授業スタイルを実習した。

話題提供として、北九州市立大学地域共生センターが取り組む、学生主体の地域課題解決学習について、同大学教員、村江史年氏に講演をいただいた。

2. 開催日時：平成28年6月4日（13時00分～18時00分）

3. 場所：ホルトホール大分（サテライトキャンパスおおいた）

4. 研修内容：3部構成（第1部：実習1・2、第2部：話題提供、第3部：実習3・4）

13:00 開会行事：教育サロン型研修会の主旨説明

13:10 第1部 ラーニングバリュー本田氏による実習（グループワーク）

実習1 グループ作り（行動特性に基づく分類の活用）

実習2 アイスブレイキングによる雰囲気作り

14:50 第2部 話題提供 北九州市立大学地域共生教育センターの事例

北九州市立大学 村江史年氏（本学OB）による、地域課題に

取り組むことで学生が成長する事例の紹介

16:20 第3部 ラーニングバリュー本田氏による実習（グループワーク）

実習3 グループでのディスカッション

実習4 各グループの成果を全体で共有

17:50 閉会行事

18:00 終了

5. 参加者数：合計29名

大分大学教員15名、他大学教員等9名、大学生5名

## 6. アンケート内容

1. 本日のサロン満足度についてお聞かせください。
2. プログラム「学習スタイル、記者会見など自己理解を深める体験」について感じたことを自由にお書きください。
3. プログラム「村江先生の話提供」について感じたことを自由にお書きください。
4. プログラム「グループでの情報共有」について感じたことを自由にお書きください。
5. 教育サロンについてのご要望など自由にお書きください

大分大学 教育サロン型FD・SD 教員×職員×学生  
**「自発的に学生が動き出す仕掛けとは？」**  
 ～社会人基礎力を養成するために～



◆開催日時◆

**6月4日(土)13:00～18:00**

◆会場◆

情報交換会 18時30分～

**ホルトホール大分 (JR大分駅前)**

サテライトキャンパス おおいた



◆研修の概要◆

この研修会では、大学への普及が進みつつあるアクティブラーニングについて実地に学び、先生方の授業をアクティブラーニング化するためのノウハウを提供することを目的としています。テーマは、大分大学が取り組む「地(知)の拠点による地方創生」事業に関連して、地域で学ぶ学生の成長について取り上げました。

具体的には、アクティブラーニング授業の一例として、学習集団の作り方と運営の方法(実習1・2)、学生が自発的に地域で活動し成長している大学の事例紹介(話題提供)を踏まえたグループディスカッション(実習3)と教室全体での情報共有(実習4)までの、一連の授業スタイルを実習します。

授業に対する日頃の思いを、教職員や学生を交えた多様な観点から話し合うことで、今後の展望につなぐ機会となれば幸いです。皆様の参加を心よりお待ちしております。

◆プログラム◆

|       |  |
|-------|--|
| 13:00 | 開会行事   |
| 13:10 | <第1部> 実習1.「あなたの学習スタイル(グループづくり)」<br>学習時の行動特性や性格分析等を基にして多様性に富む学習集団をつくります。<br>実習2.「記者会見(アイスブレイク;コミュニケーションをとりやすい雰囲気づくり)」<br>効率的な自己紹介と質疑応答により、活発な学習集団の素地をつくります。   |
| 14:40 | <第2部> 話題提供 北九州市立大学地域共生教育センターの事例<br><br>北九州市立大学地域共生教育センター(通称:421Lab.)は、地域社会における実践活動を通じ次世代を担う人材の育成を目指すとともに、地域貢献活動の一翼を担うことを目的に、2010年4月に設置されたセンターです。この組織は、地域の課題と大学の教育をつないでいくことを目的に、活動フィールドを地域とし、学生がそこにある課題に取り組むことで、地域と大学がともに成長していく社会づくりを進めていく役割を果たしています。「地域につながる、自分をひろげる」。センターの具体的な取り組みや『自分をひろげる』学生たちの成長をテーマに話題提供をさせていただきます。聴いていただく皆さまと共に学び合う時間となれば嬉しく思います。(話題提供者:村江氏より) |
| 16:00 | <第3部> 実習3.「グループでのディスカッション」<br>話題提供を手がかりとして、学生が地域で学ぶことの意義、能動的に学習するための仕掛け、地域との協働、大学の取り組み等を話し合います。<br>実習4.「全体共有」各グループの成果を全体で共有します。  |
| 17:45 | 閉会行事 (18:00終了予定)   |

- ◆講師◆ 第1部、第3部 本田 貴継 氏((株)ラーニングバリュー)  
 第2部 村江 史年 氏(北九州市立大学:大分大学OB)

◆参加費◆ 無料 (情報交換会のみ 会費:4,000円 学生は2,000円)

【お申し込み・お問い合わせ】

氏名、所属、情報交換会への参加の有無をお知らせください。  
 件名は「6月4日大分大学FD申し込み」で、お願いします。  
 (申し込み締め切り 5月31日)

大分大学高等教育開発センター

Email: hecenter@oita-u.ac.jp  
 Tel: 097(554)7644 FD担当 牧野  
 8522 教育支援課 加藤

## 7. 参加者の意識（アンケートから） ※回答者数 22（回答率：75.9%）

### 1. 本日のサロンの満足度についてお聞かせください

- とても満足した 32%（7名）、満足した 68%（15名）、  
どちらとも言えない 0%、あまり満足しなかった 0%、全然満足しなかった 0%  
・その理由（自由記述）

#### 【教員・職員】

- ・北九州市立大学の取り組みについて詳しく学べた
- ・非常に（授業というより、自分自身にとって）参考になった。
- ・教員が変わること⇨学生への影響
- ・内容は想像と違ったが来て良かった。
- ・初めて参加し、大変勉強になった
- ・アクティブラーニングの一端を考えさせていただいた
- ・学生やいろいろな学部の人と交流でき、いろいろな考えを聞くことができた
- ・改めて自己を見つめなおすいい機会となった
- ・自分なりに全体の構築、位置付けが検討できたこと
- ・大学内のFDであり、COCの内容を考えるという目標の下なので、自由度がやや固かった。
- ・大分大学の多くの教員が参加され、アクティブラーニングへの興味の高さがわかった。
- ・皆さんの考え、意識を知ることができ良かった
- ・テーマとのズレが感じられた。
- ・村江先生のお話は具体的で、学生の様子がよくわかりました
- ・ありがとうございました。いい刺激をもらいました。
- ・互いのいろいろな意見交換ができてとてもよかった。
- ・満足した。
- ・毎回得るものがたくさんあります
- ・とっかかりのプログラムとしては素晴らしい。これだけ長時間にもかかわらず、時間が押しして振り返りの時間がとれなかった点が残念。
- ・学生の自発性を促す際のキーワードがはっきりとしたため
- ・地域で活動する学生のモチベーションをどう高めるかについて意見交換ができ、有意義であった。
- ・グループの分け方（アンケート結果を用いた「ちがひ」に基づくグループ化）はとても参考になりました。授業で試したいと思います。

#### 【学生】

- ・多くの方々とグループディスカッションやお話を聞く場に来たことで、貴重な体験をすることができ、非常にタメになりました
- ・普段は学べないプログラムで、非常に新鮮な感じで、研修に参加できた。
- ・様々なバックグラウンドを持った方々と対とう（？）に意見を言いあえたとても、貴重な体験となりました。本当に良い交流の場、そしてグループワークでした。
- ・新たな出会い、思考などがあったので楽しかったです。

2. プログラム「学習スタイル、記者会見など自己理解を深める体験」について感じたことを自由にお書きください。

**【教員・職員】**

- ・アイスブレイクとして良い手法だと感じた
- ・自分が苦手とするタイプの実習でしたが、思いの外、質疑ができたが、さらけ出すこと？がたった5人でも、記者やキャストの性質が異なり、面白かった。難しかった。
- ・「記者会見」→自己紹介の一つスタイルを学べた。今後生かすことがあると思う。
- ・「学習スタイル」→このような診断は初めてであり、興味深かった。
- ・自己紹介をしたのは久しぶりで新鮮でした。
- ・学習スタイルは意外でおもしろかったです。内容がどのように作られているか学びたい
- ・毎回自分の状況を確認させられます
- ・性格分析は割と性格とは真逆になっていた。
- ・記者会見のアイスブレイクはやや長い感じがした。
- ・授業では使えるが、会議やワークショップでは難しく感じる。
- ・あまり体験したことがなかったのでおもしろかった
- ・学生にもやらせてみたい
- ・やや唐突であった。メンバーにもよるが、難しい面も。
- ・アイスブレイクできました。
- ・話しやすくてよかったです
- ・ただの自己紹介だけではなく、質問をお互いに十分行うことで、その後のグループ討論しやすくなった。
- ・いろいろな人のいろいろな有益な考え・意見を聞いてとても参考になった。
- ・あっという間に、良い関係性が出来る、非常にすぐれたプログラムだと思った。
- ・良い内容。時間は半分で同じ効果がだせそう
- ・良い方法だと思います。これまでもある程度こうした活動に時間を使っていましたが、次回からは「記者会見」利用させていただきます。
- ・学習スタイルについて振り返りができてよかった。
- ・記事会見スタイルの情報共有、コミュニケーションの活性化には非常に有効であると感じました。

**【学生】**

- ・他の方々に質問をしていき、その質問に答えていくということで、非常に話しやすく先生と学生という違いを感じることなく、沢山質問することができてよかったです
- ・自分の学習スタイルの確認ができた。又、他の人たちの学習スタイルとの違いについて把握することも出来た。
  - ・記者会見はコミュニケーションを行う、良いワークであったと思う。
  - ・自己紹介をする際の記者会見では、事前に自己分析をすることもできよかったです。
  - ・今回形がかわりました。なのでとても新たな発見という形でよかったです。

3. プログラム「村江先生の話題提供」について感じたことを自由にお書きください。

**【教員・職員】**

- ・そのまま他大学で実現するには難しいが、エッセンスについては役立てられそうである
- ・実践的な例が聞けて良かった。
- ・「学生の自発的」の引き出し方にギモンが残った。
- ・生き方に感心することが多くあった。（バイタリティーさ、芯の持ち方、挑戦心等々）
- ・人間的魅力をいろいろな部分で感じる事ができた
- ・「待つ」という姿勢を学ばせていただきました
- ・センターの作り方、単位としてではなく、ボランティアではない考え方がとてもよかったです。
- ・社会活動の経験をベースにしたプロジェクト・指導方法の実際的な強さを感じた。
- ・自己紹介を短くして、取り組み事例を深くして欲しかった
- ・北九州市立大の活動が良く分った。
- ・学生のやる気をださせるヒントをもらった
- ・情報が多く、興味深い内容がある
- ・やや長い
- ・とてもおもしろくて、とてもいい刺激になりました
- ・地域にかかわることは学生にとってかなり大事な経験になると思うが、教員からの関わり方も重要で難しそうだとも思った。
- ・地域貢献を通して、学生への教育のあり方を考えるきっかけになった。
- ・学生の自主性をひき出す、素晴らしいプログラムが多数導入されている
- ・素晴らしい実践でした。さらに巻き込み力を発揮されることをお祈りします
- ・多くのプログラムを学生を動かしながらマネジメントされている事に感心しました。
- ・北九州市立大学での地域貢献に対する熱意を理解でき参考になった。
- ・多くの地域貢献プロジェクトを運営・実施されており、それを学内外に可視化されている取組は素晴らしいと感じました。

**【学生】**

- ・直に聞くことがあまりなかったため、貴重な話を聞く事ができたなという感じです。難しく分かりにくい話もありましたが、社会に出てからそういったことをしっかりとしていかなければならないと思いました。
- ・大分大学のOBで、かつ、ゼロ面免課程の方で、共通の部分を持った、村江先生の報告は、北九州市立大学での地域共生の組み立てのお話で、学校と地域の連携をすることの必要性と、行い方、関わり方、課題などを学ぶことが出来た。
- ・活発な活動をされているのだと感じました。
- ・とてもためになりました。しかしもっとモチベーションの維持の仕方を詳しくしりたかったです。

4. プログラム「グループでの情報共有」について感じたことを自由にお書きください。

**【教員・職員】**

- ・参加者の方々からの意見が参考になった
- ・時間が足りない位、盛り上がったことにまず、驚いた。
- ・それぞれの立場から考えが出され、話し合うこと自体を楽しめた
- ・少ししゃべりすぎたかもしれません
- ・非常に話しやすかった。もう少し周囲の先生の話聞くべきだったかも
- ・今回発表用シートにまとめたのは記録を残す意味でも良かったと思う
- ・具体的に自分が何をすべきかはまだ、ぼんやりしているが、方向性は分かったような気がする
- ・難しさを感じた。テーマがあいまいで何を決めるか？
- ・意見交換は有意義であった
- ・理事の考えが聞けて、大変よかったです
- ・難しかったです。どうすればうまくできるのか、ノウハウを知りたかったです。
- ・まずは1人だけで考えすぎずに、色々な話を色々な先生、学生と話し、交流をもつことが重要だと思った。
- ・自分だけの考えだけでなく、グループでのディスカッション・アクティブラーニングの重要性を意識した。
- ・先生方がこれからの授業にどのようにアクティブラーニングを取り入れていくかを真剣に悩まれていることがわかってよかった
- ・やや散漫な展開であった
- ・もう少し抽象的な事ではなく、具体的な方法について議論できたらよかったと思います。
- ・色々な立場からの考え方を知る事が出来た。今後の参考にしたい。
- ・今回は自主的に自分の意見が主張できる人ばかりでしたが、大人しい学生が多い教室の中で、どのように活発なグループワークができようにするのかは難しい課題と思いました。

**【学生】**

- ・最初の「記者会見」があったおかげでいつもより話しやすく、情報共有がしやすかったです。こういった体験をこれからもしていきたいと思った
- ・様々な意見をまとめることの難しさ大切さを感じました。
- ・とても討論が激しかったが、色々な視点でみる事ができた。

5. 教育サロンについてのご要望など自由にお書きください

**【教員・職員】**

- ・ありがとうございました。学生の意見がとても良かった。学生の参加者が増えてほしい
- ・お世話をしていただいた皆様に感謝します。ありがとうございました。
- ・機会があればぜひ次回も
- ・もうすこし冷房を強くして欲しい
- ・ありがとうございました。
- ・やや時間管理があいまい。もう少し短時間でもよい。
- ・教育サロンの情報提供をお願いします。

- ・他の課題（学生の自発性）に関しても、今日のような講演会があれば良いと思う。
- ・ありがとうございました。

**【学生】**

- ・もっと学生や院生の参加をさせるべきだと思う。
- ・良い経験をありがとうございました。